

🍰 Birthday 🍰

寄り添う音読
📖第3号📖

豊中市立東丘小学校3年2組学級通信 2020. 4. 22

子どもに寄り添うこと（音読を聴くことを通して）

東丘小学校保護者の皆様、新3年2組の担任の梅川尚彦です。
本日も見ていただき、ありがとうございます。お子様の学習支援の一助となれば幸いです。
音読の宿題が出ている学年もあるので、本日は「家庭での音読」を取り上げました。
私の学級では、下のような音読指導を授業でしています。懇談でも紹介・推奨してきました。

◎寄り添う音読の聴き方◎（例）

- ①時間設定：なるべくゆとりがある10分程度（出勤前等忙しい時間 ✕食事を作りながら）
- ②場所設定：お子様の横に座るようにしてください。（○ソファ・○座布団・○座椅子等）
- ③聴く人物設定：お母さん・お父さん・おばあさん・おじいさんのいずれか一人でよいと思います。
親も子どもも、リラックスして、楽しめる環境を整え、負担感を下げ、継続的なものにしましょう！
- ④分量の設定：最初は少なめの2回程度でいきましょう。（初回が多いと音読嫌いになる可能性があります。）

⑤子どもへの言葉かけの例

（★POINT は、「子どもの読み方」（話すこと）でもいいですが、「読んだ内容について」（読むこと）問いかけたりクイズをしたりヒントを出したりすることです。）

●具体例（2年生国語科：「ニャーゴ」（みやにしたつや）の場合）●

親：お話を聞いていないねずみは何匹いたの？ 子：3びき！

親：すごい！ちゃんと人数をわかっているんだね！じゃあ、、、クイズするよ！

クイズ1！「ねこはどんなねこでしょうか？」

子：どんなねこって、、そんなこと言われても、

（大人にとって簡単な答えでも、お子様が答えるまでじっと待って頂けたら嬉しいです。タイトルにある「寄り添う」こと具体例です。1～2分程度待っても答えが出なければ、ヒントを出してくださいね。）

子：うーん、大きいねこ?? （どんな答えでも笑顔で聞いてください。子どもはいつも素直な答えです。）

親：その通りだよ！よくみつけたね！どこに書いてあったの？

子：ここ！！ （ここで嬉しそう声だったら、「寄り添う」ことに成功したことになります。）

⑥次回への予告・・・「明日は2を読むね！楽しみにしているよ！毎日、成長していこうな。」

と、いつも「前向きな言葉かけ」を意識して頂けると、子ども達は笑顔になってくれるのではと思います。ゲーム感覚で大人が音読している内容に興味をもち、楽しんでいると、自然に子どもも楽しんでくれます。学ぶこと=楽しいこと、、、本来の学びの姿を休校中にご家庭で探ってくれたらと願います。

クイズの種類
① 答えが一つ（易）
② 三択クイズ（易）
③ 答えが複数（難）
× 答えが不明瞭

最初からうまくいくとは思いません。僕も教員という仕事で、養った技術と考えます。
僕も今でも勉強中です。大人の根気、そして、本気を子ども達は待っています。

大人の本気をみせてやりましょう！ ※感想や次回へのリクエストがあれば梅川までお電話でお願いします。

東丘小学校の子どもたちへ 梅川先生は昨日は「かしの木公園」に行きましたよ！サングラスをかけていたら、「ハンター！」と言われました。「とうそう中」のことですね。いつか東丘のみんなと「とうそう中」を学校でしたいな！と、楽しいことをそうそうしています。「みんなも学校がはじまったら〇〇したいな！」と、思うことがたくさんあると思いますが、これもりっぱな「夢」です。「夢の教室」にしよう！じゃあ、またね！！